

事業の目標と行動計画

以下の5つの目標を達成するために行動計画に従って、ダイバーシティ研究環境を実現するための取組を進めていきます。

本事業の目標

目標 1	女性教員在籍率19%を目指す。
目標 2	新規採用教員に占める女性比率30%を目指す。
目標 3	教授・准教授の女性比率10%を目指す。
目標 4	役員等での女性比率10%を目指す。
目標 5	女子学生の研究者志望への意識向上および男性も含めた人的ダイバーシティへの意識醸成を行う。

事業期間中の目標値

※1 上位職…教授・准教授相当
※2 役員等…総長特別補佐を含む

	H28	H29	H30	H31	H32	H33
在籍教員における女性比率	12%	13%	14.3%	15%	17%	19%
新規採用における女性比率	16%	18%	20%	23%	26%	30%
上位職 ^{※1} における女性比率	7.5%	8%	8.5%	9%	9.5%	10%
役員等 ^{※2} における女性比率	3.8%	5.7%	5.7%	7.5%	9.4%	10%

行動計画

	H28	H29	H30	H31	H32	H33
ダイバーシティ研究環境整備のための取組	施策の検討 *1 *2		支援策の実施			評価・改善
			定期的な評価活動・取組への反映			
	施策の検討		学生・大学院生の育成支援の実施			評価・改善
女性研究者の研究力向上のための取組	URA配置		女性研究者のためのURAによる研究支援			評価・改善
			研究力育成・向上のためのセミナー等開催			
	施策の検討		研究業績の顕彰および研究費支援			
女性研究者の上位職への積極的登用にに向けた取組	施策の検討		採用・昇任促進施策の実施			評価・改善
			意識啓発活動			
			メンタリング支援			

第三期中期目標・中期計画(抜粋)

男女共同・協働の実現

No. 60 次世代の学生の教育を担う機関として男女共同・協働を実現するため、「東北大学における男女共同参画推進のための行動指針」に基づく総合的・計画的な取組を推進し、第3期中期目標期間中に、女性教員比率を19パーセントに引き上げることを目指した採用等の取組及び管理職等(課長補佐級以上)の女性職員比率を15パーセントに引き上げることを目指した育成等の取組を強化する。

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画(抜粋)

目標 管理職等(課長補佐以上)の女性職員比率を15%へ引き上げることを目指す。

《取組1》女性のキャリア形成の阻害の要因の一つである労働環境の改善を実施する。

《取組2》女性職員を対象として管理職育成を目的としたキャリア研修を実施する。



日本初の「女子学生」



植木男女共同参画推進センター長(右から2番目)および副センター長

東北大学における男女共同参画のあゆみ

- 1913年 我が国の大学として初めて女性に門戸開放。
- 2001年 東北大学男女共同参画委員会設置。
- 2002年 男女共同参画推進のための東北大学宣言。
- 2003年
 - ・21世紀COEプログラム「男女共同参画社会の法と政策」採択(実施期間5年)。
 - ・男女共同参画奨励賞(通称:澤柳賞)創設。
 - ・各部署に「男女共同参画ワーキンググループ」設置。
- 2005年 学内保育所「川内けやき保育園」開設。
- 2006年 「杜の都女性科学者ハードリング支援事業」採択。
- 2008年
 - ・グローバルCOE「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」が採択(実施期間5年)。
 - ・「育児のための短時間勤務制度」、「育児休業等の取得による任期の延長」制度化。
- 2009年
 - ・2番目の学内保育所「星の子保育園」設置(星陵地区)。
 - ・「杜の都ジャンプアップ事業for2013」採択。
- 2013年
 - ・東北大学女子学生入学100周年記念事業。
 - ・東北大学における男女共同参画推進のための行動指針。
- 2014年 東北大学男女共同参画推進センター開設。
- 2016年 「杜の都女性科学者エンパワーメント推進事業」採択。



沢柳フェローランチミーティング



東北大学 サイエンス・エンジェル



東北大学男女共同参画推進センター

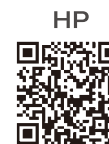
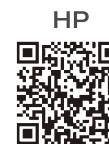
Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

TEL 022-217-6092

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1

E-mail tumug@morihome.tohoku.ac.jp

HP www.morihome.tohoku.ac.jp



発行日 2016年12月



東北大学男女共同参画推進センター

Tohoku University Center for Gender Equality Promotion



東北大学

ご挨拶



東北大学 総長
里見 進

東北大学は平成28年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)に採択されました。この事業は研究環境のダイバーシティを高め、優れた研究成果の創出につなげるため、女性研究者のライフイベントとワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備や、女性研究者の研究力向上のための取組、および上位職への積極採用に向けた取組を支援するものです。

これまで、東北大学では文部科学省の女性研究者支援事業による支援や独自経費(総長裁量経費「男女共同参画・女性研究者支援事業」)によって女性研究者に焦点を当てた取組を行ってきました。それにより、女性教員比率は向上していますが、国立大学全体の平均(平成27年度15.4%)と比べるとまだ低い状況です。

このような現状を踏まえ、第三期中期目標計画においては、明確に女性教員比率が19%となることを目指すという数値目標を掲げています。目標達成に向けて、採用に係る取組を進めると同時に、採用した女性教員が在任中に業績を重ねることで、大学に定着し、上位職へ昇進できるよう女性研究者の研究力向上に向けた取組を実施したいと考えています。本事業への取組で、女性研究者が途切れることなくキャリアアップを図ることができ、多様な視点を持った研究者がともに研究活動を行うことができる環境が構築されることを期待します。

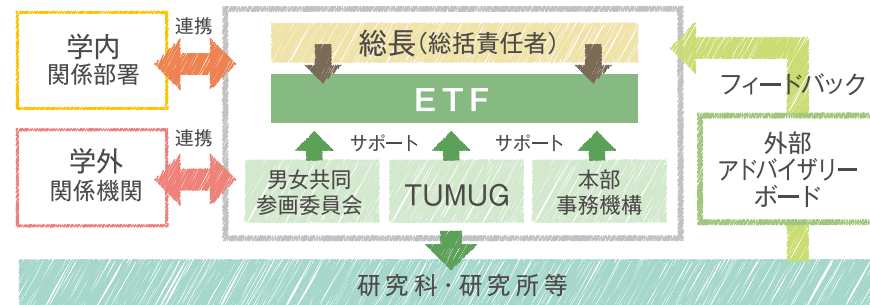
推進体制



実施責任者
女性研究者エンパワーメント
タスクフォース(ETF)座長
大隅 典子

総長特別補佐(男女共同参画担当)
男女共同参画推進センター
副センター長
医学系研究科 教授
附属創生応用医学研究センター長

ダイバーシティ研究環境整備に向けた取組を行う本事業は、総括責任者である総長の下に組織する「女性研究者エンパワーメントタスクフォース(ETF)」が中心となり、男女共同参画委員会および男女共同参画推進センター(TUMUG)と一体となって行います。事業および本学における男女共同参画の取組全体の妥当性および進捗状況については、外部有識者により構成されるアドバイザリーボードから専門的かつ中立的な助言を受けます。

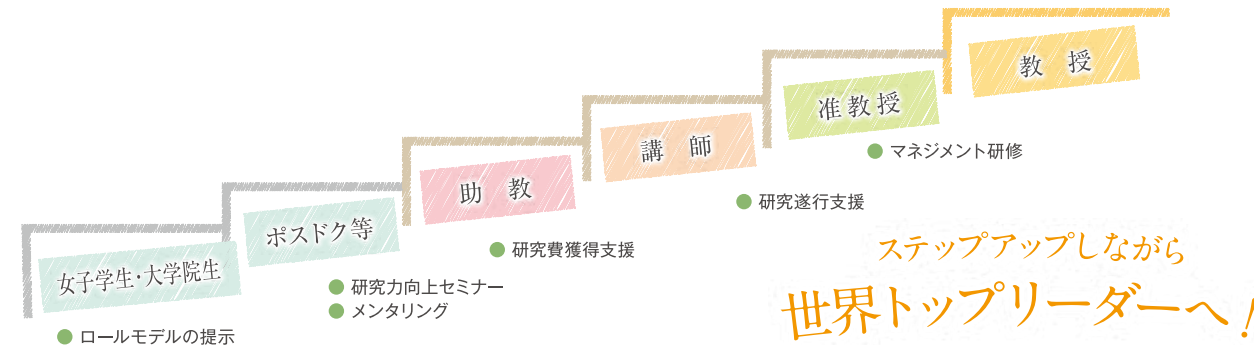


◎外部アドバイザリーボード (平成28年12月1日現在)

梅田 恵氏	日本アイ・ビー・エム株式会社 人事ダイバーシティ企画担当部長	(50音順)
鹿島 敬氏	一般社団法人 女性労働協会会長兼専務理事	
東村 博子氏	名古屋大学副理事(男女共同参画担当)	
前田 瑞夫氏	理化学研究所主任研究員	
宗片 恵美子氏	特定非営利活動法人 イコールネット仙台代表理事	
宗近 美佐子氏	内閣府男女共同参画局推進課課長補佐	
山田 秀雄氏	山田・尾崎法律事務所弁護士	
報道機関関係者		

杜の都女性研究者エンパワーメント 推進事業の紹介

「杜の都女性研究者エンパワーメント推進事業」では、女性研究者のキャリア段階にあった以下の取組を行い、ダイバーシティ研究環境実現の達成を目指します。



ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)事業の6つの取組



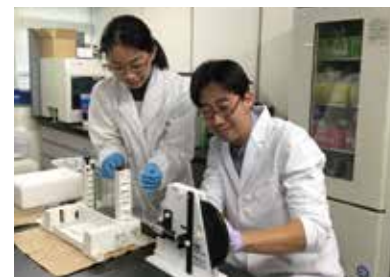
推進体制の確立

- 女性研究者エンパワーメントタスクフォース(ETF)および外部アドバイザリーボードの設置
- 調査実施 等



女性研究者の採用と上位職への積極的登用に向けた取組

- ETFによる採用・昇進促進施策の検討
- 部局の取組状況を反映させた総長裁量経費配分 等



グローバル化に対応した、ダイバーシティ研究環境整備のための取組

- 支援事業の拡大(研究支援要員(C型)の新設)
- 保育施設の新設
- 英語化による外国人研究者への対応 等



女性研究者の研究力およびリーダー育成の取組

- URAによる研究費獲得支援と共同研究のための情報収集連絡調整
- 研究発表・交流機会提供(TUMUG Forum)
- 沢柳フェロー制度による女性研究者同士のネットワーキングおよびメンタリングの促進
- 支援事業の拡大(「科学研究費助成事業」フォローアップ制度および国際学術論文作成のための英文校閲費用補助制度の新設)
- セミナー(研修)開催
- 研究成果の顕彰 等

次世代の女性研究者育成の取組

- 東北大学サイエンス・エンジェル制度の継続実施
- 奨励制度拡大の検討
- 研究職の魅力伝えるセミナー等の実施 等

ダイバーシティ研究環境整備に関する意識醸成と広報活動

- 男女共同参画シンポジウム、管理職セミナーの開催 等

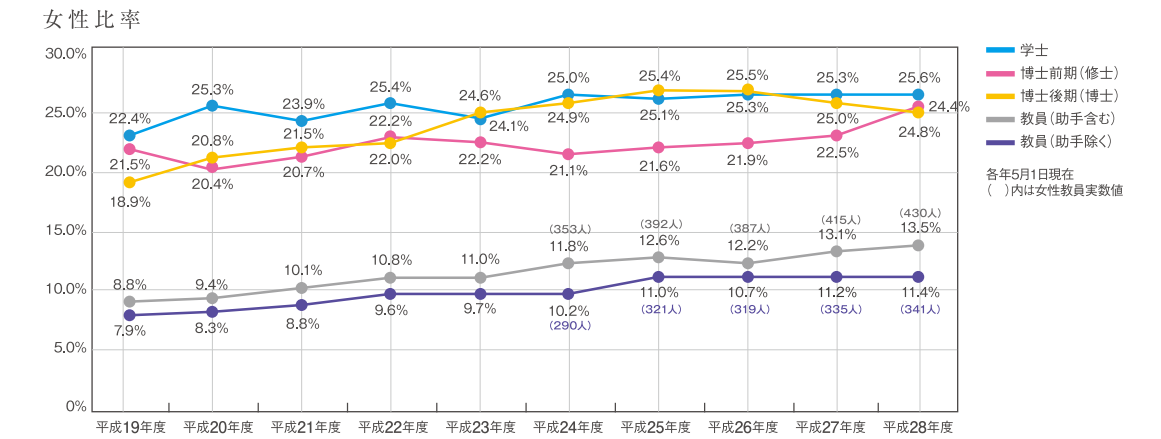


「推進します!! 東北大エンパワーメント」

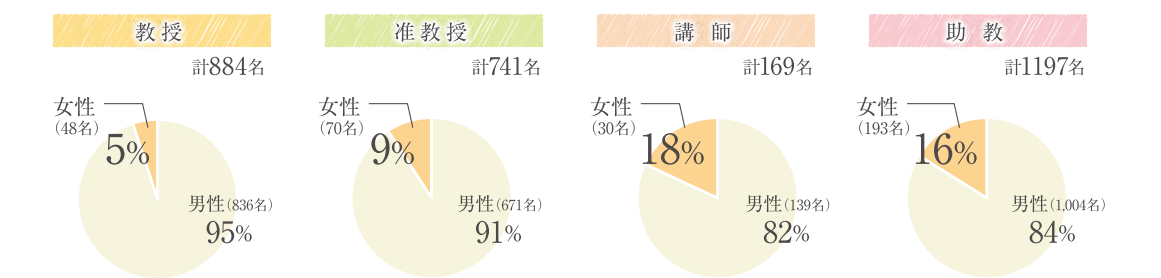
東北大学における男女共同参画の現状

東北大学における在籍教員・学生の女性比率

東北大学では文部科学省の女性研究者支援事業による支援や独自経費(総長裁量経費「男女共同参画・女性研究者支援事業」)による女性研究者に焦点を当てた取組により、女性教員数は着実に増加していますが、国立大学全体の平均(平成27年度15.4%)から見ると遅れをとっている現状にあります。



東北大学における男女構成比



これまでの実績



杜の都女性科学者ハードリング支援事業

平成18年度～平成20年度 …女性研究者支援モデル育成事業
女性科学者のキャリアパスにおける障害(ハードル)を乗り越えるための取組

- 育児介護支援プログラム
- 環境整備プログラム
- 次世代支援プログラム



杜の都ジャンプアップ事業for 2013

平成21年度～平成25年度 …女性研究者養成システム改革加速事業
自然科学系の女性研究者を採用・育成するための取組

- 世界トップクラス研究リーダー養成プログラム
- 新ネットワーク創生プログラム
- 研究スタイル確立支援プログラム



東北大学内保育園・星の子保育園

平成27年度までの支援実績	
研究支援要員制度	のべ 65名
ベビーシッター利用料等補助	のべ 158名
川内けやき保育園	のべ 324名
星の子保育園	のべ 143名
星の子ルーム(病後児保育)	のべ 4845名

注:平成18年度から。ただし、川内けやき保育園は平成17年度、星の子保育園は平成22年度、星の子ルームは平成15年度から。